

歯科衛生学科 キャリア教育・実践的職業教育

1. キャリア教育への取り組み

1年次では、基本的な医学・歯学の知識習得と模型を使用した技術訓練を行い、2年次の前期で歯科臨床科目の学習と学内での相互実習で技術を向上させつつ、同時に安全と配慮について学習していきます。2年次後期から3年次前期に渡り、一般歯科・口腔外科・小児歯科・矯正歯科・障害者歯科診療所などの歯科医療現場で臨床実習を実施します。3年次後期では高齢者施設での臨地実習にて口腔機能管理の実際を学び、即戦力の育成を目指します。卒業後はスタディグループや卒後研修などで更なるスキルの向上を図ります。

2. 実習・実技への取り組み

学内実習では本校オリジナルの実習訓練台を使用し、複数名のインストラクターを配置し、安心安全な技術習得に必要な時間をかけ、丁寧に指導しています。基本的な技術を習得後、実際の歯科治療台を使用し学生同士のロールプレイ形式で相互実習が実施され、歯科治療時の医療安全や機器の管理方法などを学びます。外部実習においては、指導経験の豊富な歯科医師・歯科衛生士が担当していただいています。

3. 資格取得への取り組み

1年次からモチベーションから始まり、学習への姿勢、能動型学習への取り組み等資格取得への準備を開始します。3年次では10回を超える模擬試験の結果より、自己分析と担当教員との面談を重ね、足りない知識の確認し実力をつけ、国家試験の合格を目指します。

4. 就職支援への取り組み

卒業年度の学生に対し、就職ガイダンス、個別面談を実施しています。就職活動の前には、面接や履歴書の書き方などきめ細やかな指導を行い、本人の希望が叶うようサポートしています。